

令和5年度 袋井市当初予算の概要

1 市政運営の基本方針

～未来に向けた実践予算～

本市は令和3年度から「チャレンジ&スマイル」を合言葉に、市民みんなが主体的かつ前向きに取り組むまちの実現に向け、市政を運営してきました。

令和5年度は、未来に向けた希望や変革の芽を、大きな流れに変える「**明るい未来に向けてステップアップする年**」として、大きな一歩を踏み出すことで、さらに飛躍（ジャンプ）し、明るい未来を市民とともに創り出していくため、次の6つの重点項目に全力で取り組みます。

◇新年度の重点取組項目（施政方針）

- 1 子育てと教育の質を向上させるまちづくりの実践（子どもがすこやかに育つまちの推進）
- 2 すべての市民がWell-Beingなまちづくりの実践（健康長寿で暮らしを楽しむまちの推進）
- 3 環境に配慮し住み続けたいなるまちづくりの実践（快適で魅力あるまちづくりの推進）
- 4 イノベーションとにぎわいの創出によるまちづくりの実践（活力みなぎる産業のまちの推進）
- 5 あらゆるリスクに備えるまちづくりの実践（安全・安心に暮らせるまちの推進）
- 6 新たなつながりによる共創のまちづくりの実践（市民がいいきと活躍するまちの推進）

※Well-Being…精神的・社会的・身体的といった全て状態が良好な状態のこと。
瞬間ではなく、持続的な幸福感。

2 予算規模

- ◇ 一般会計の総額は、**388億3,000万円**で、前年度と比べると**22.5億円、6.2%の増**となり、5年連続の増、過去最大の予算となりました。
- ◇ 月見の里学遊館の大規模改修事業や、市内各所の治水対策事業、台風15号の災害復旧事業などによる投資的経費の増加（11.0億円）、産業立地補助金の増などにより補助費等が増加（6.8億円）する一方で、職員の定年年齢の引き上げにより人件費（退職手当）が減少（1.3億円）しています。
- ◇ 特別・企業会計を含めた総額は**627億4,330万円**で、前年度と比べると、**26億8,230万円、4.5%の増**となりました。

（単位：千円・％）

区 分	令和5年度	令和4年度	比較	
			増減額	伸び率
一般会計	38,830,000	36,580,000	2,250,000	6.2
特別会計（5会計）	15,136,300	14,368,000	768,300	5.3
企業会計 （水道・下水道・病院）	8,777,000	9,113,000	▲ 336,000	▲ 3.7
合計	62,743,300	60,061,000	2,682,300	4.5

3 主な新規・拡充事業

(1) 活力みなぎる産業の推進

産業未来

市内中小企業のデジタル化を促進し、さらなる成長と地域の稼ぐチカラの向上を図ります。

- ◇ **【新規】** 森町袋井インター通り線整備促進事業 1,385万円
- ◇ **【新規】** 中小企業デジタル化推進事業 300万円
- ◇ **【新規】** スタートアップ企業実証実験サポート事業 255万円

(2) 教育・子育て支援の充実

子ども未来

子どもの医療費の無料化による子育て世帯の負担軽減や、教育・子育ての質と施設環境の向上を推進します。

- ◇ **【拡充】** 子ども医療費の無料化(高校生年代まで拡大) 4億7,334万円
- ◇ **【拡充】** 放課後児童クラブ運営事業(2クラブ増設) 2億8,187万円
- ◇ **【新規】** 園務支援システム導入事業 4,210万円
- ◇ **【新規】** (仮称) 子ども交流館「あそびの杜」基本計画策定事業 1,050万円
- ◇ **【新規】** 子ども・若者海外留学支援制度の創設 300万円

(3) 健康長寿で暮らしを楽しむまちの推進

健康未来

市民一人ひとりの心と体が健康で暮らしを楽しむ「well-Beingなまちづくり」に向けて、企業の健康経営の推進や、健康課題の可視化に取り組みます。

- ◇ **【新規】** 総合健康センター将来構想策定事業 420万円
- ◇ **【新規】** ふくけん（袋井健康長寿研究） 300万円
（静岡社会健康医学大学院大学連携事業）

(4) 治水対策の加速化

昨年9月の台風15号を踏まえ、市内各所における治水対策を加速化します。

- ◇ **【拡充】** 柳原雨水ポンプ場整備事業 3億8,550万円
- ◇ **【拡充】** 松橋川・油山川等河川改修事業 1億8,330万円
- ◇ **【新規】** 袋井駅南地区新幹線南側土地利用計画策定事業
（仮称）Fukuroi Central Park構想 2,580万円

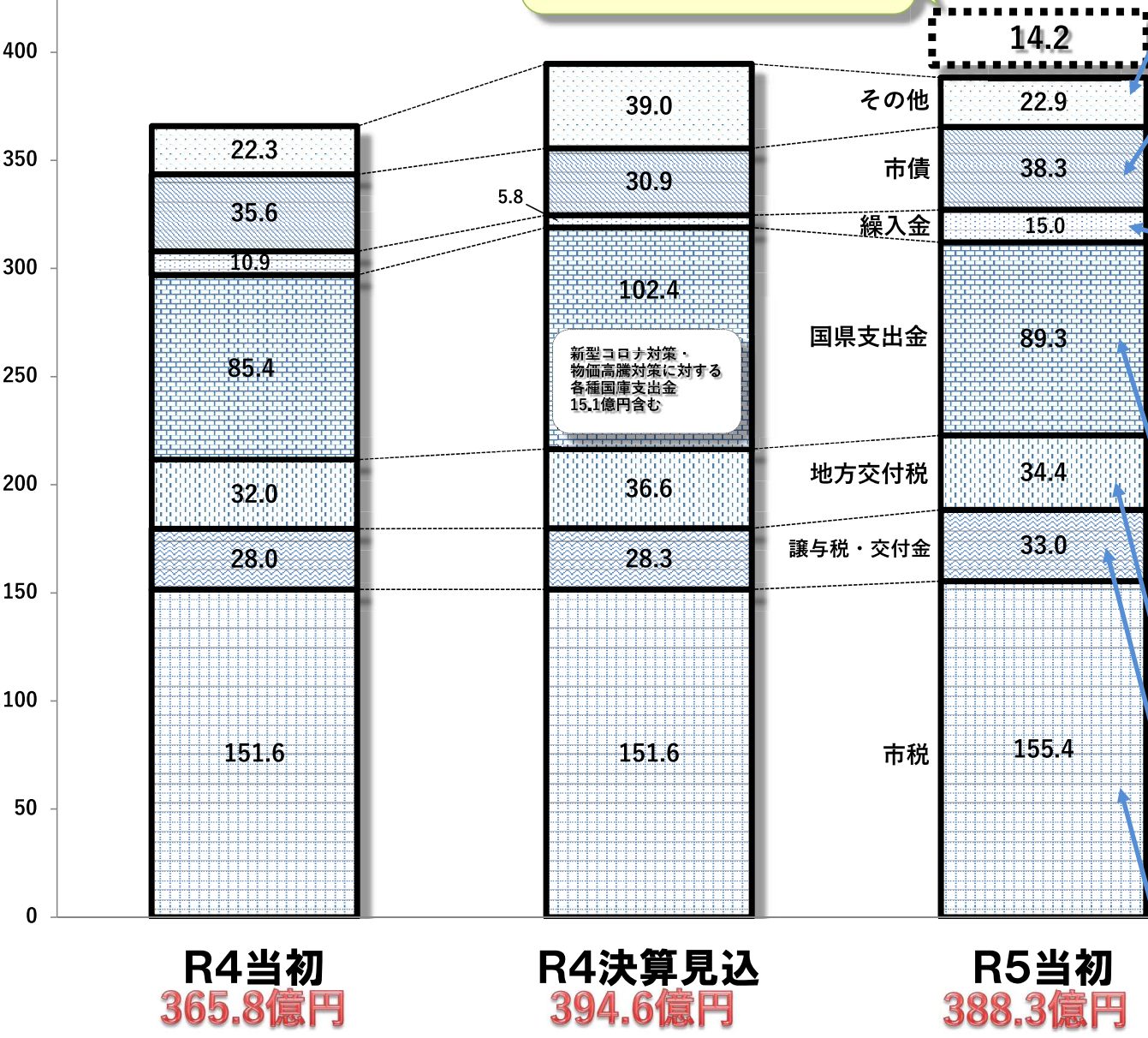
(5) 地域資源を活用した観光政策の推進

大河ドラマ「どうする家康」を契機に、遠州三山や同笠海岸、エコパスタジアム、メロン、お茶など、地域の魅力的な資源をフル活用し、稼ぐ観光を推進します。

- ◇ **【拡充】** 海のにぎわい創出プロジェクト 4億2,658万円
（防潮堤整備事業含む）
- ◇ **【新規】** 団体ツアー支援事業費補助金 500万円

一般会計予算フレーム【歳入】

単位：億円



当初比増減要因 (主なもの)

【その他】
◇ふるさと納税 (一般寄附金) 1.0億円 (5.0→6.0)

【市債】
◇公共施設等適正管理推進事業債 7.7億円 (6.7→14.4)
◇緊急防災・減災事業債 3.7億円 (1.0→4.7)
▲教育債(浅羽中学校など) ▲3.5億円 (5.2→1.7)
▲臨時財政対策債 ▲4.0億円 (8.0→4.0)

【繰入金】
◇財政調整基金繰入金 3.4億円 (8.3→11.8)
◇文化振興基金 0.5億円 (0.2→0.7)
◇公共施設等適正管理基金 0.3億円 (1.3→1.5)

【国県支出金】
◇地域産業立地事業費補助金 1.5億円 (0.2→1.7)
◇公共土木施設災害復旧費負担金 1.2億円 (0.4→1.6)
◇新型コロナワクチン接種対策負担金 1.2億円 (2.2→3.4)
◇介護サービス提供体制整備促進事業費補助金 1.0億円 (皆増)
◇社会資本整備総合交付金(治水対策) 0.8億円 (0.4→1.2)
◇デジタル田園都市国家構想交付金 0.8億円 (皆増)
◇観光地域づくり整備事業費補助金 0.5億円 (皆増)
◇子どものための教育・保育給付費負担金 0.2億円 (18.3→18.5)
▲新型コロナ地方創生臨時交付金 ▲2.5億円 (皆減)

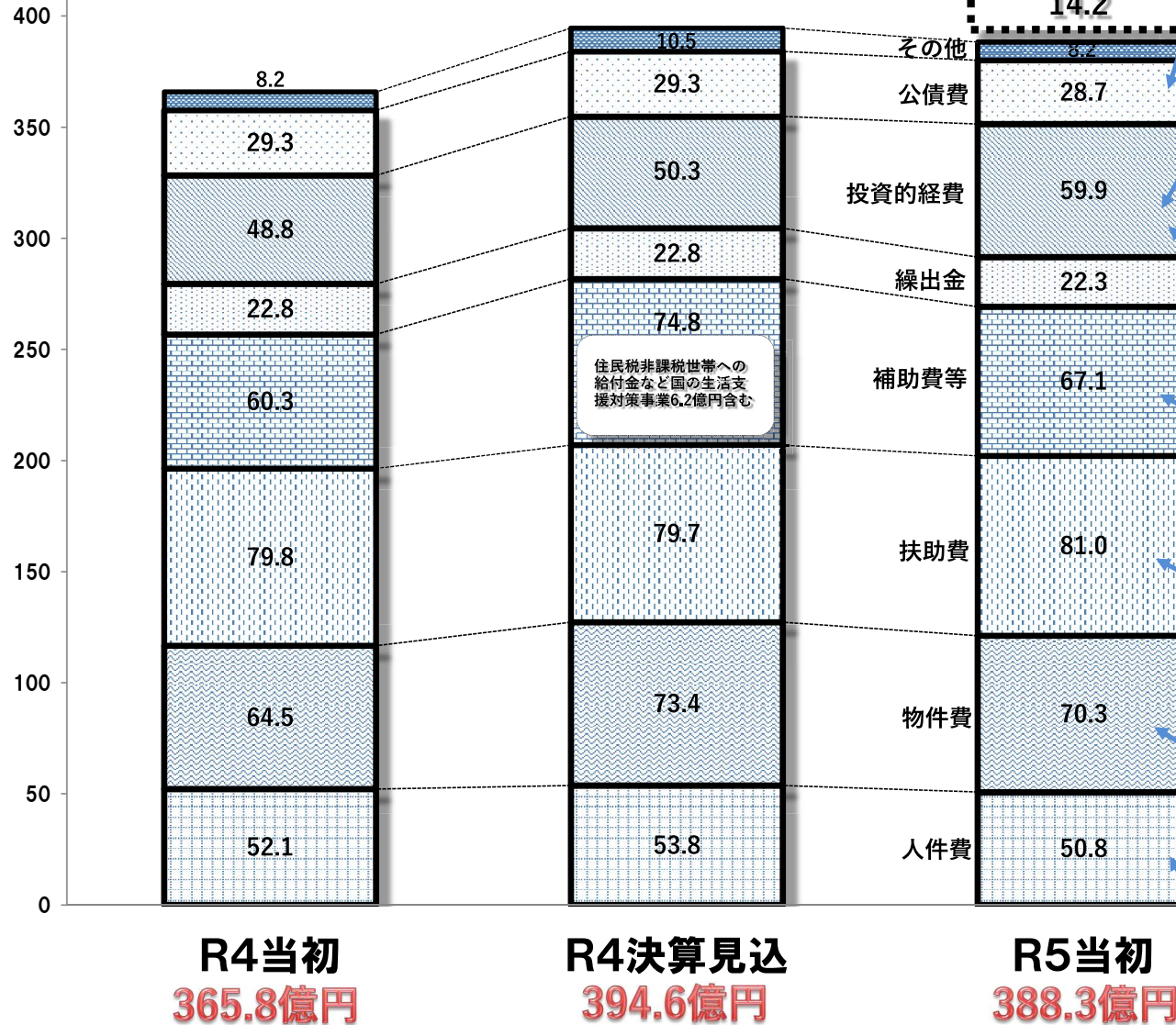
【地方交付税】
◇普通交付税 2.4億円 (27.0→29.4)

【譲与税・交付金】
◇地方消費税交付金 3.5億円 (19.2→22.7)
◇法人事業税交付金 0.3億円 (2.3→2.6)

【市税】
◇個人市民税 0.7億円 (48.4→49.1) [1.5%]
◇法人市民税 0.6億円 (10.0→10.6) [5.8%]
◇固定資産税 1.5億円 (71.2→72.7) [2.0%]
◇軽自動車税 0.2億円 (3.3→3.5) [7.0%]
◇都市計画税 0.3億円 (13.0→13.3) [2.3%]
◇市たばこ税 0.5億円 (5.6→6.1) [8.9%]

一般会計予算フレーム【歳出(性質別)】

単位：億円



- ①国の令和4年度補正予算に伴うもの 6.1億円
(小中学校のLED照明工事など)
②市独自の物価高騰対策 2.8億円
③大門沿道整備土地区画整理事業 1.3億円
④台風15号災害復旧事業 1.4億円

402.5億円
(繰越含む)

- 【公債費】
◇公共施設等適正管理推進事業債 0.1億円 (0.1→0.2)
▲臨時財政対策債 ▲0.5億円 (0.8→0.3)

- 【投資的経費】
◇月見の里学遊館大規模改修事業 8.8億円 (1.5→10.3)
◇秋田川排水区治水対策事業 2.7億円 (0.8→3.5)
◇総合健康センター非常用発電設備更新事業 2.5億円 (皆増)
◇小中学校トイレバリアフリー化事業 2.3億円 (0.5→2.8)
◇袋井駅南都市拠点土地区画整理事業補助金 0.7億円 (4.2→4.9)
◇油山川改修事業 0.5億円 (0.4→0.9)
◇田端宝野線新設事業 0.4億円 (0.5→0.9)
◇松橋川改修事業 0.2億円 (0.7→0.9)
▲諸井山の手線新設事業 ▲1.0億円 (皆減)
▲袋井方面隊第5分団車庫更新事業 ▲0.6億円 (皆減)

- 【災害復旧費(台風15号関連)】
◇市道大谷幕ヶ谷線復旧事業 1.8億円 (皆増)
◇準用河川中沢川復旧事業 1.1億円 (皆増)

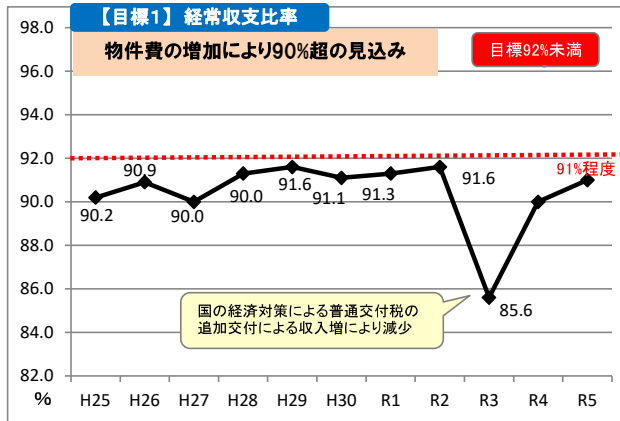
- 【補助費等】
◇産業立地補助金補助金 2.9億円 (0.4→3.3)
◇袋井市森町広域行政組合負担金(ごみ処理費) 1.2億円 (8.1→9.3)
◇介護サービス提供体制整備促進事業費補助金 1.0億円 (皆増)
◇下水道事業会計負担金 0.9億円 (4.9→5.8)
◇袋井市森町広域行政組合負担金(消防費) 0.6億円 (10.9→11.5)
◇ふるさと納税返礼品代 0.3億円 (1.4→1.7)
▲工場立地奨励補助金 ▲1.0億円 (1.2→0.2)

- 【扶助費】
◇子どものための教育・保育給付費 0.6億円 (27.4→28.0)
◇障害者自立支援給付費 0.3億円 (16.5→16.8)
◇子ども医療費助成 0.3億円 (4.4→4.7)

- 【物件費】
◇物価高騰に伴う施設維持管理コストの増 1.3億円
◇新型コロナワクチン接種事業 1.1億円 (1.8→2.9)
◇放課後児童クラブ運営事業 0.6億円 (2.2→2.8)
◇ふるさと納税関連事務費 0.2億円 (1.1→1.3)
◇自治体情報システム標準化事業 0.1億円 (0.1→0.2)
◇ごみの収集・運搬処理事業 0.1億円 (1.9→2.0)
◇自治体BPR推進事業 0.1億円 (皆増)
▲庁舎オフィス改革事業 ▲0.2億円 (0.4→0.2)

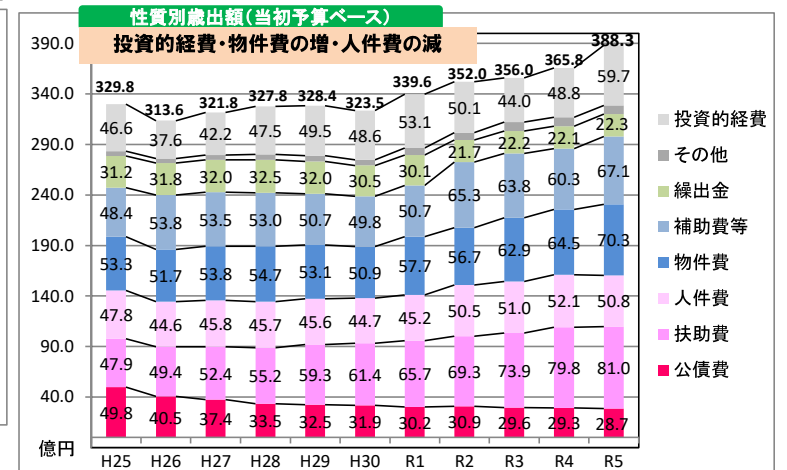
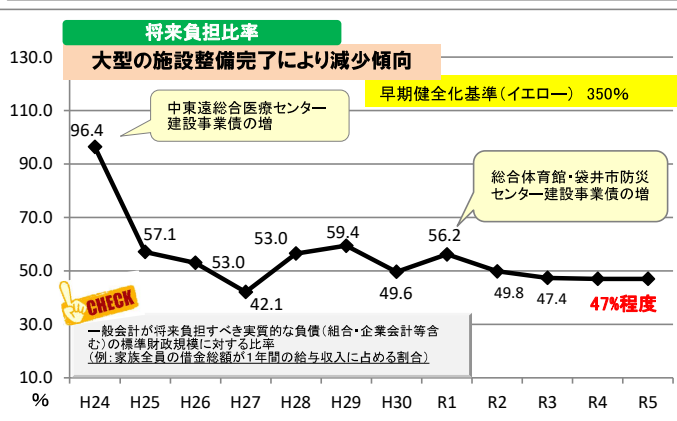
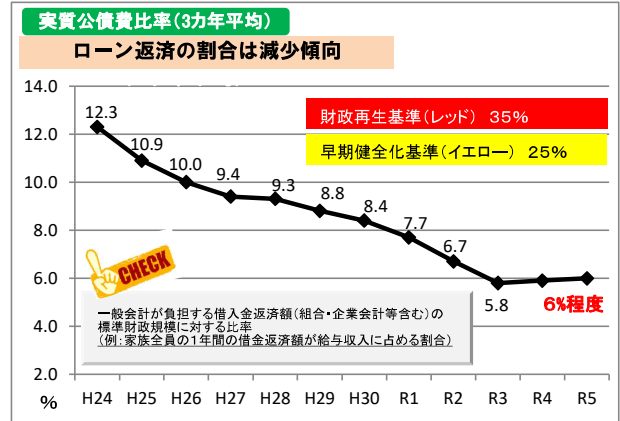
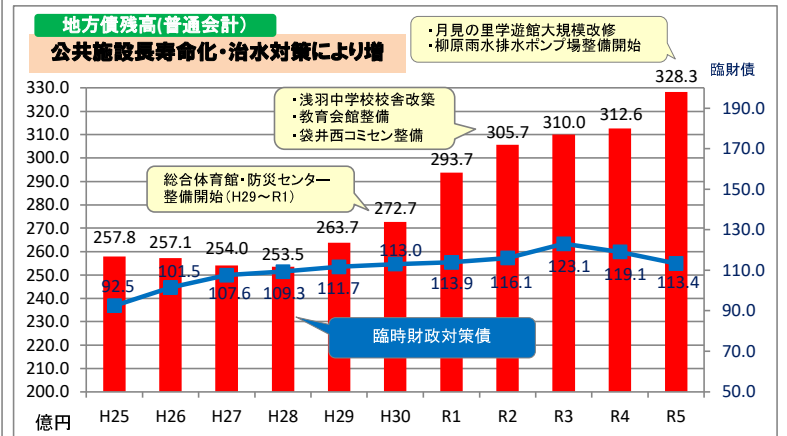
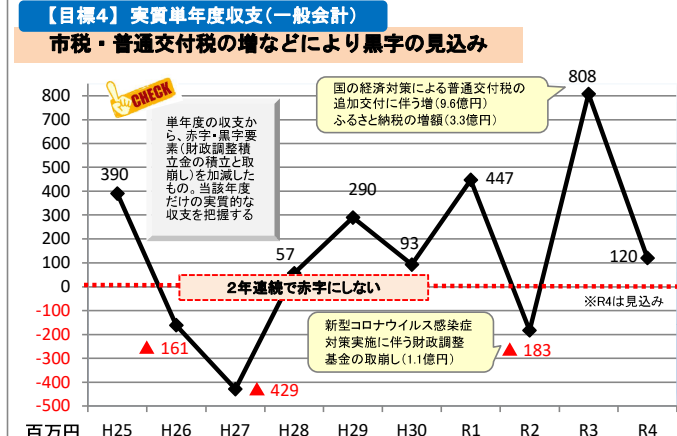
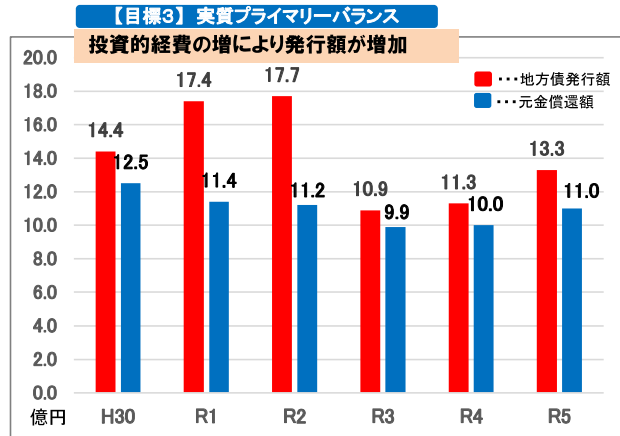
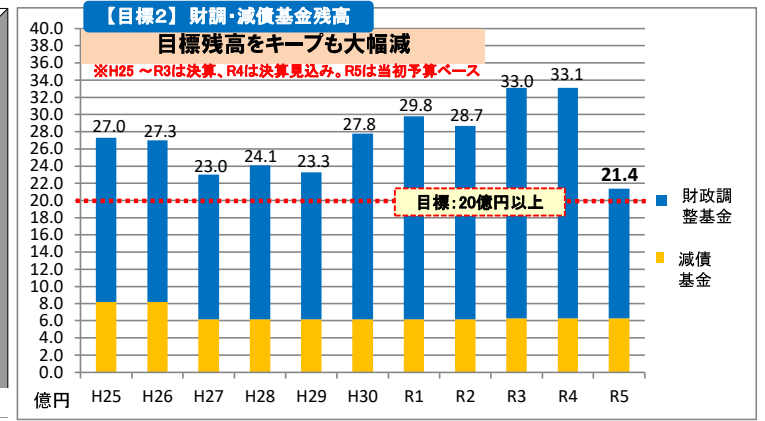
- 【人件費】
◇人事院勧告に伴う職員給与費等の増 0.9億円 (18.6→19.5)
▲退職手当 ▲2.3億円 (2.5→0.2)

【R5当初予算】各種財政指標等の推移



健全財政のための目標

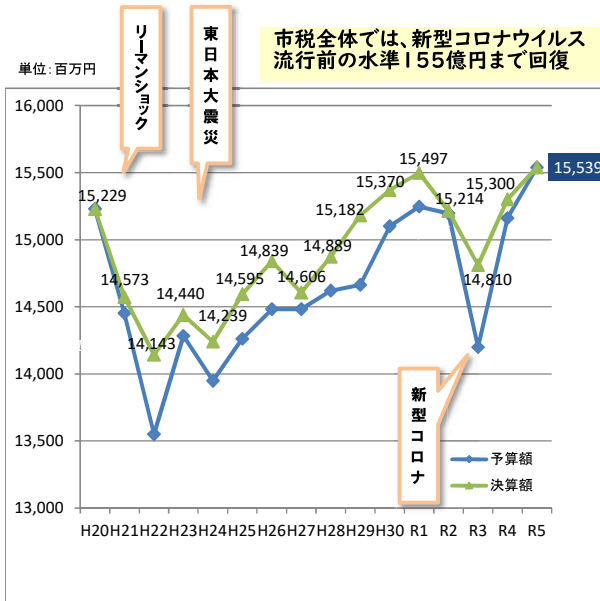
- 目標1 経常収支比率は92%未満とする。
- 目標2 基金残高(財政調整基金+減債基金)は、20億円以上とする。
- 目標3 実質的なプライマリーバランスを維持する。
- 目標4 実質単年度収支を2年連続で赤字にしない。



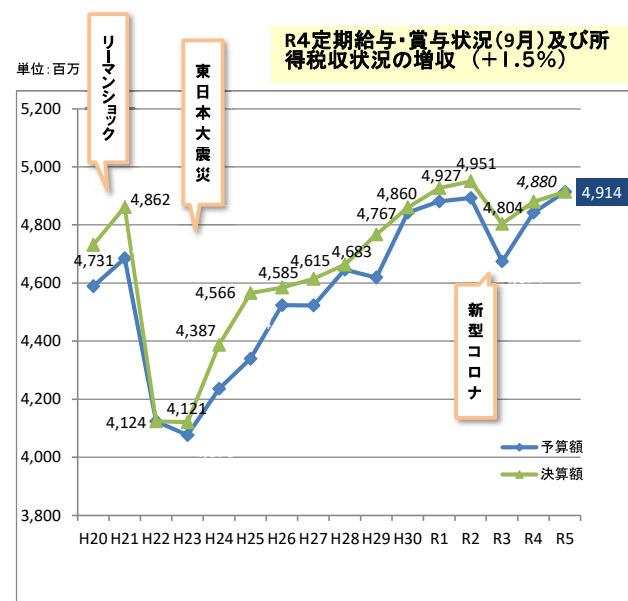
※令和4年度は決算見込。令和5年度は予算額(各種比率については決算見込)。

市税の推移【H20～R5】

【市税合計】

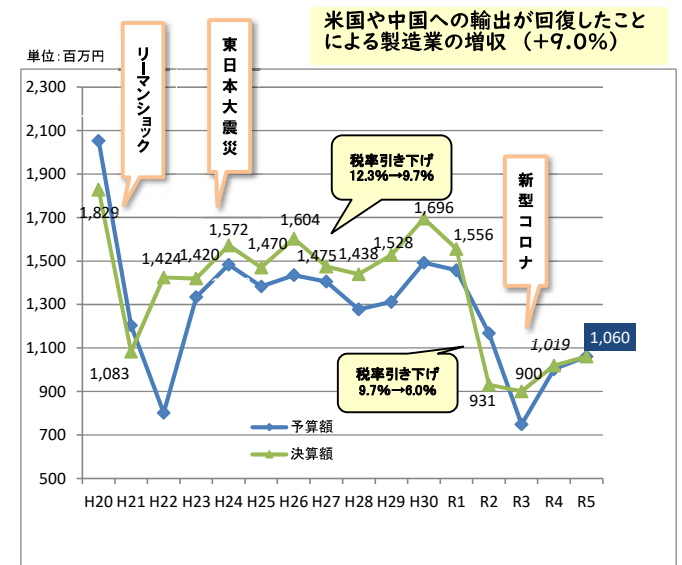


【個人市民税】

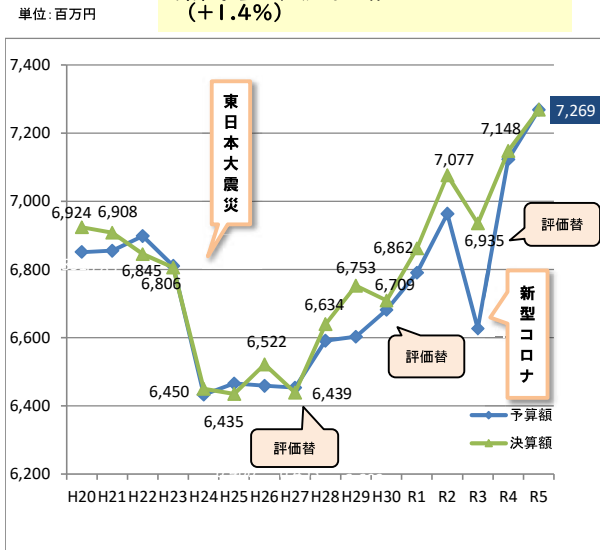


【法人市民税】

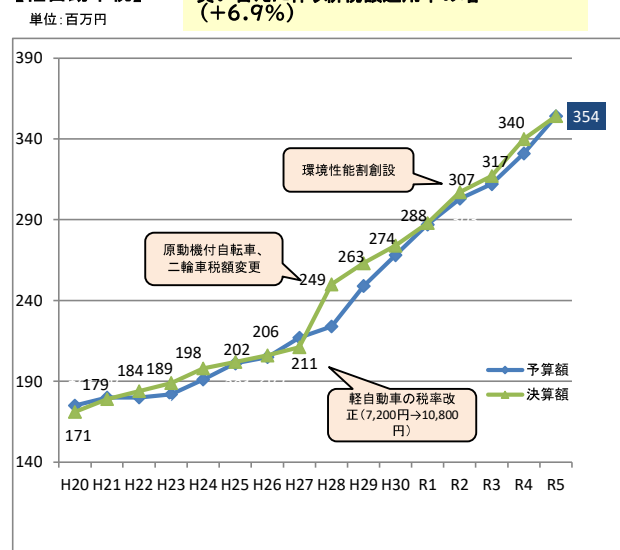
H20.9月 リーマンショック H26.4月 消費税率改正(8%)
 H23.3月 東日本大震災 R1.10月 消費税率改正(10%)
 H24.12月 第2次安倍内閣発足 R1.11月～ 新型コロナウイルス感染症の世界的流行
 (アベノミクス)



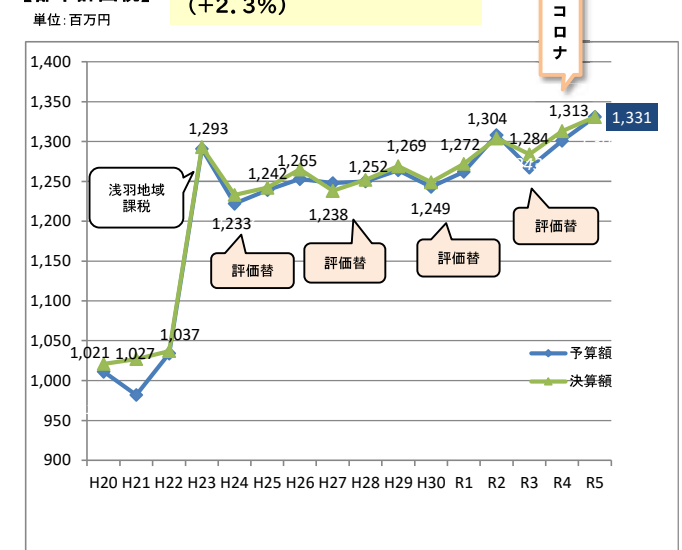
【固定資産税】



【軽自動車税】



【都市計画税】



※R4の決算額は見込み。R5年度は予算額